

# 公益財団法人JKA

## 機械振興事業補助事業完了のお知らせ

公益財団法人JKAの2021年度自転車等機械振興事業に関する補助金を受けて、ライソゾーム病スクリーニング検査機器を導入しました。

ライソゾーム病は、細胞の中の分解酵素のひとつが欠損していることにより、起こる病気の総称で、欠損する酵素によって、低身長や筋力低下をはじめさまざまな症状がある難病です。

ライソゾーム病は、早くに治療を始めることが症状の進行を抑えることに繋がりますが、出生後すぐはほとんど症状が見られず、成長するにつれ発症します。

また病型によっては、成人期以降に発症するタイプもあります。

その病気を見つけるために、生まれてすぐに行う新生児マススクリーニング検査が有効です。

今回導入した検査機器では、検体前処理装置や高速液体クロマトグラフィーで、ろ紙血検体を、揮発・濃縮・分離。

質量分析装置「タンデムマス」で検体を測定し、ライソゾーム病の疑いのある新生児をスクリーニングします。

